

The Weekly Report of



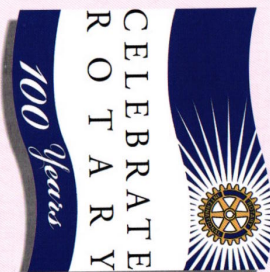
Hakodate North R. C.

函館北ロータリークラブ会報

2004～05年度
国際ロータリーの特徴

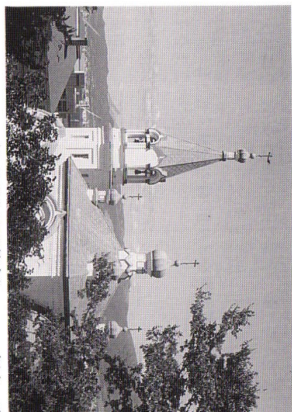
ロータリーを
祝おう

100年の歩み



2004～05年度
国際ロータリー会長
ゲリンE. エヌス Sr

南木 哲雄 会長様へ 目標に向かって全力で頑張ろう!! そして楽しもう!!



〈ハリス正教会〉

坂本 政博氏 撮影

《第1979回例会》 第 8 号 8月25日(水)

本日のプログラム

ホームページ紹介

IC委員会 松見修二委員長

★会長 南木 哲雄 ★幹事 大谷 賀津雄

例会会場: 函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151

例会日: 毎週水曜日 12:30～13:30 事務局: 函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

(32)

Cテーブル 石橋 輝夫 会員

A・Bとほぼ同一ですが、退会部会もそれぞれあり、会社都合、年令差とかあり、再入会は何々難しいという意見があった。ロータリーは基本的に楽しくなければ長続きしない。そういう意味でもゴルフの喜多会以外の親睦会的な趣味を同じくするような会を別に作ることも一案だと思う。

【会長総評】

前回、今回のプログラムで真面目な議論は無かったように思う。

色々な方々の話し合いはマイナスでは無いと思う。

いかに楽しいロータリーにするには会長の方向が変わるといった激励を受けたと思っている。

会員同志でも戒め合いながら、又、どうして行ったら良いかを改めて考えさせて頂きながら今後の方角について行きたい。その為にも会員の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

(会報担当者: 山下 清司 委員)

双葉印刷

〒040-0014 函館市中島町3-3

TEL (0138)53-7730 FAX (0138)56-4373

(広告掲載: 西尾 昌一 会員)

◎8月4日出席報告

会 員	39名	出席率対象会員		出席率規定免除会員	
		出席	欠席	出席	欠席
当日出席	26名	当	欠	計	
他クラブ出席	5名	出	席	合	計
出 席		率		81.58%	

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・9月1日
プログラム

ビデオ「ポールP・ハリスの足跡を訪ねて」

— 没後50周年記念 —

8月18日の記録

◎司 会 南木 哲雄 会長 ◎齊 唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ピジター 函館 R.C. 中山浩一君・黒崎敏雄君

◎会長報告 南木 哲雄 会長

○2005年6月18日から22日までシカゴで開催される国際ロータリー100周年の国際大会登録の案内がありました。

○千葉港 R.C. 20周年記念参加者が不足しています。ご都合を付けてのご参加をお願いします。尚、旅行代金は二泊で47,400円と格安で用意しています。

◎幹事報告 大谷 賀津雄 幹事

○函館 R.C. より創立70周年記念式典のご案内がありました。

式典は10月25日(月)午後4時点鐘、会場は函館国際ホテル、登録料は12,000円です。

○地区大会の追加登録者ありましたら申し出て下さい。

○地区大会に於る永年100%出席者名簿を30年 推谷会員、20年 新 会員、15年 小笠原会員で地区本部に報告しました。

◎親睦活動委員会 崎野 浩志 委員

ニコニコBOX投入報告

南木 会長……先週の夜間例会ありがとうございました。

森 会員……親睦委員会の皆さん、ビールパーティー楽しい集いました。ありがとうございました。

柴崎 会員……BOXに協力

鈴木 会員…… ”

渡部 会員……先週のビールパーティーありがとうございました。今後とも親睦委員会宜しくお願いします。

◎フオーラム「ロータリー財団について」 森 秀樹 フォラム委員長

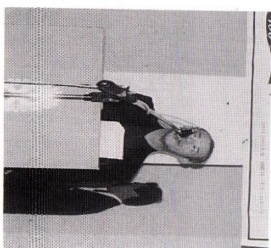
◎財団のはじまり

1917年フランクフルトの国際大会

フーチクラフク会長提唱

1947年 ボール・ハリスが亡くなった時、創始者を想い

寄付が相次いで寄せられたのを契機に大きく発展 現在に至る



●シエラ・シズテム

ロータリーからのその年の寄付金を直ちに使うことなしに、3年経ってから、地区に60%(地区財団活動資金) 財団に40%(国際財団活動資金)として配分、前者をDDF、後者をWFの名称が使われている。

この制度は、1994～95採用

当地区では、富原年度から隔年実施しているGSE補助金、同額補助金はWF

●財団承認ポイント

PHFの人が1,000ドル寄付した場合、自分がマルチプルPHFの上にさらに他の人をPHFにすることが出来る。例えば、2人の人に夫々500ドルずつのクレジットを移管(トランスファー)すれば、それに500ドルずつ寄付してもらって2人のPHFが誕生する。

●財団のプログラム

1. 人道的プログラム

世界社会奉仕助成金 ロータリー・ボランティア補助金

保健・創健造放および人間性尊重補助金 ヘルピンダ・グラント 同額補助金

新入道的補助金 ポリオ・ブラス ロータリー平和プログラム補助金

2. 教育的プログラム

国際親善奨学金 大学教授のための補助金 文化交流プログラム

研究グループ交換 GSE

補助金……不足分をおぎなう。

(助成金……完成するまで助けること)

今日は財団を強化するために会員増強について、

① 退会会員の再入会案は？

② 退会会員の退会理由は？

という小テーマで各テーマ(A・B・C)にて討論をお願いします。

Aテーマ 西尾 昌一 会員

フオーラムのテーマの答えではないが、昔のような緊湊感が無いのではないかと意見があった。又、もっと楽しくないと拡大は無いのではないかと？ 例えば喜多会のような親睦団体をもっと立ち上げるとか。又、再入会については年令や色々な問題で未だ無理ではないかという意見も出ていた。

Bテーマ 茂木 政雄 会員

まず退会の原因ですが、ロータリーに対する魅力が無くなった。これに対し、今後生きがいを見つけられるプログラムを組んでいかねばいけない。

2つ目としては、各会社の方針というが経済的な問題もあり、地場会員以外の転勤者(会社)の退会者がすいぶんあります。その他にスタイタスが無くなった。活動に対する充実感が無い。その対策として、入会した時点での指導・教育をキチンとするべきだ。

又、退会会員の再入会案ですが、退会者リストを作成し、退会理由を探り、再挑戦をする。